

Adobe Illustrator データ作成の注意点

Adobe Illustrator を使用し、データ作成をされる場合は下記入稿規定に沿ってデータ作成してください。

Illustrator のバージョンは CC まで対応しています。

Illustrator データ入稿規定

- 必ず当社テンプレートを使用してください。
- 必ず作成された Illustrator と同じバージョンで保存してください。
- カラーモードは CMYK に設定してください。
- 全ての文字を「アウトライン化」してください。
- 全ての配置画像を「埋め込み」処理してください。
- 「線・ペンツールなどで作る線」の着色は、必ず「線」を着色してください。
- 断裁を考慮した、「塗り足し」/「レイアウト」をしてください。

- オーバープリントはチェックあり/ なしに関わらず無効になります。
- リッチブラックの配色は C40% M40% Y40% K100% 推奨しています。

必ず当社テンプレートを使用してください。

印刷データは必ず弊社テンプレートを使用しデータ作成してください。

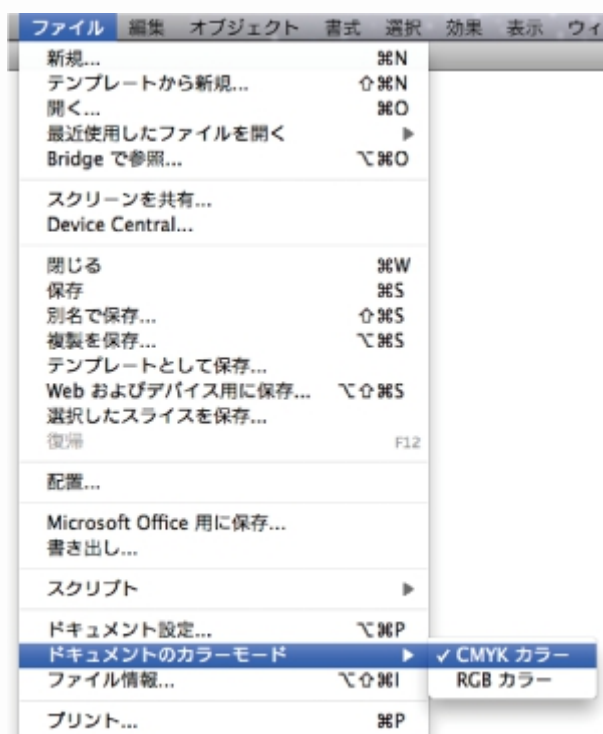
必ず作成された Illustrator と同じバージョンで保存してください。

Illustrator は旧バージョンで保存することが可能ですが、デザイン作業を開始して保存するときには、必ずご使用のバージョンで保存してください。テンプレートは旧バージョンまで対応するために、バージョン CS で保存してあります。

カラーモードは CMYK に設定してください。

Illustrator ver9 以降、書類のカラーモードを『RGB カラー』と『CMYK カラー』から選択することが出来ます。

データ作成の際は、「ファイル」メニューから「ドキュメントのカラーモード」を『CMYK カラー』に設定してください。



全ての文字を「アウトライン化」してデータ入稿してください。

お客様と弊社の書体(フォント) 環境が異なる場合、文字のアウトライン処理を行わずそのままの状態にて入稿されますと、データを開く環境によって異なるフォント (書体) で 出力されてしまいます。

必ず全ての文字データをアウトライン化してご入稿ください。

アウトライン化の手順

①アウトライン作成したい文字を選択します。

②文字を選択した状態で、画面上部の「書式」メニューから「アウトライン作成」を選択します。



アウトライン化を行う前に

アウトライン化後に元のファイルに上書き保存してしまうと、保存後文字修正を行うことが出来なくなります。

アウトライン化作業後には別名で保存するようにしてください。

簡単・確実にアウトライン化の手順

①レイヤーのテンプレートレイヤー以外のロックを全て外します。

②「オブジェクト」から「全てをロック解除」を選択します。

オブジェクトにロックが掛かっていなければ、「全てをロック解除」は選択出来ませんので③に進んでください。

③「選択」から「すべてを選択」を選択します。

ショートカット「Ctrl+A」 >>MacOS の場合は「コマンド+A」

④アウトラインを作成します。

ショートカット「Ctrl+Shift+O」 >>MacOS の場合は「コマンド+Shift+O」

あとからアウトライン化できない効果についての注意事項

エンベロープによる文字の変形

文字を「エンベロープ」を使用し変形させた場合は、後から文字をアウトライン化することが出来ません。

エンベロープを使用する前に、文字をアウトライン化してエンベロープを使用してください。

アウトライン化をせずに「エンベロープ」を使用した場合、「オブジェクト」→「エンベロープ」→「拡張」を行ってください。

文字を含んだパターン作成

文字データを含んだパターンを作成する場合は、必ず文字をアウトライン化してからパターンを作成してください。

全ての配置画像を「埋め込み」処理をしてください。

Illustrator で使用された全ての画像を埋め込み処理してデータ入稿してください。

画像を配置する際に埋め込む手順

リンク状態で配置した場合は、画像を選択し、リンクのオプションから「画像を埋め込み」を選択できます。



- ①「ファイル」メニューから「配置」を選択します。
- ②ご使用される画像を選択します。
- ③「リンク」のチェックを外します。
- ④「配置」ボタンを押して画像を配置します。

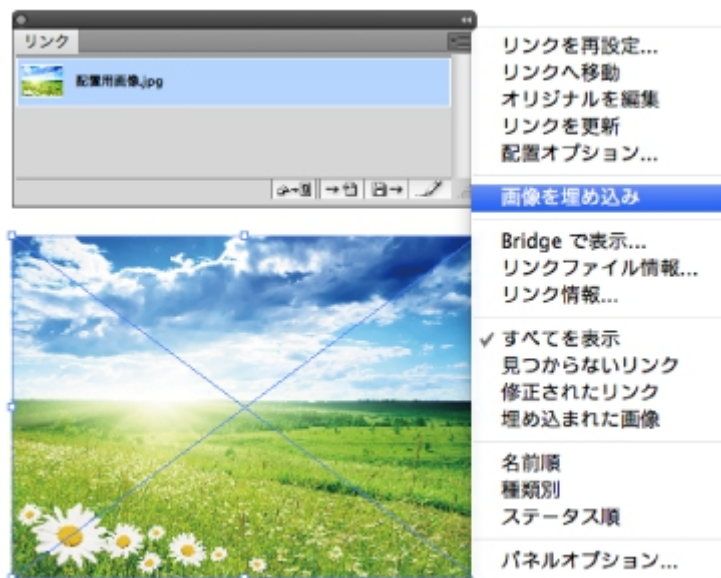


画像を配置した後に埋め込む手順

リンク状態で配置した場合は、画像を選択し、リンクのオプションから「画像を埋め込み」を選択できます。



- ①「ウインドウ」メニューから「リンク」を選択します。
- ②埋め込む画像を選択するか、「リンクパネル」から画像を選択します。
- ③「リンクパネル」の「オプション」を選択します。
- ④「オプション」メニューから「画像を埋め込み」を選択します。



「線・ペンツールなどで作る線」の着色は、必ず「線」を着色してください。

線・ペンツールなどで作る「線」への着色は「塗り」ではなく「線」で必ず着色してください。

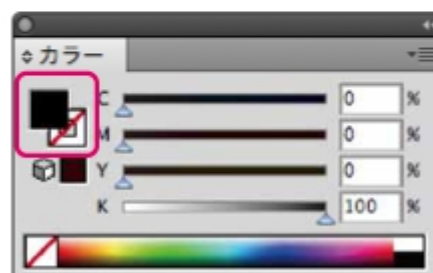
逆に「塗り」で着色してしまった場合は、「印刷されない線」になってしまいます。

この「印刷されない線」のことを DTP 用語で「ヘアライン」と言います。

正しい「線」の着色



誤った「線」の着色



「この線は印刷されません」
誤って塗りで着色しても直線は
間違いに気づきにくいです。



断裁を考慮した、「塗り足し」/「レイアウト」してください。

正しいレイアウト/ デザインがされていないと紙の断裁時に起こる僅かな断裁ズレによって文字が切れてしまったり、紙の白色が出てしまいます。

塗り足しについて

断裁（仕上り）線より 3mm 外側へはみ出すようにデザインを引延ばしてください。

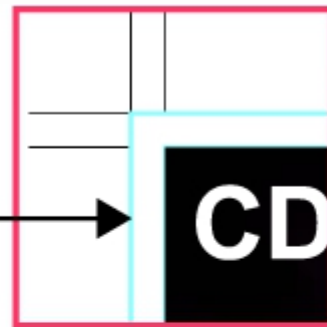
文字の配置について

断裁（仕上り）線より 2 ～ 3mm 内側に文字と切れてはいけないオブジェクトを配置してください。

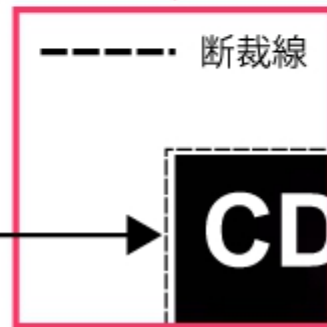


塗り足しが作成されていないレイアウトによって起こる問題例

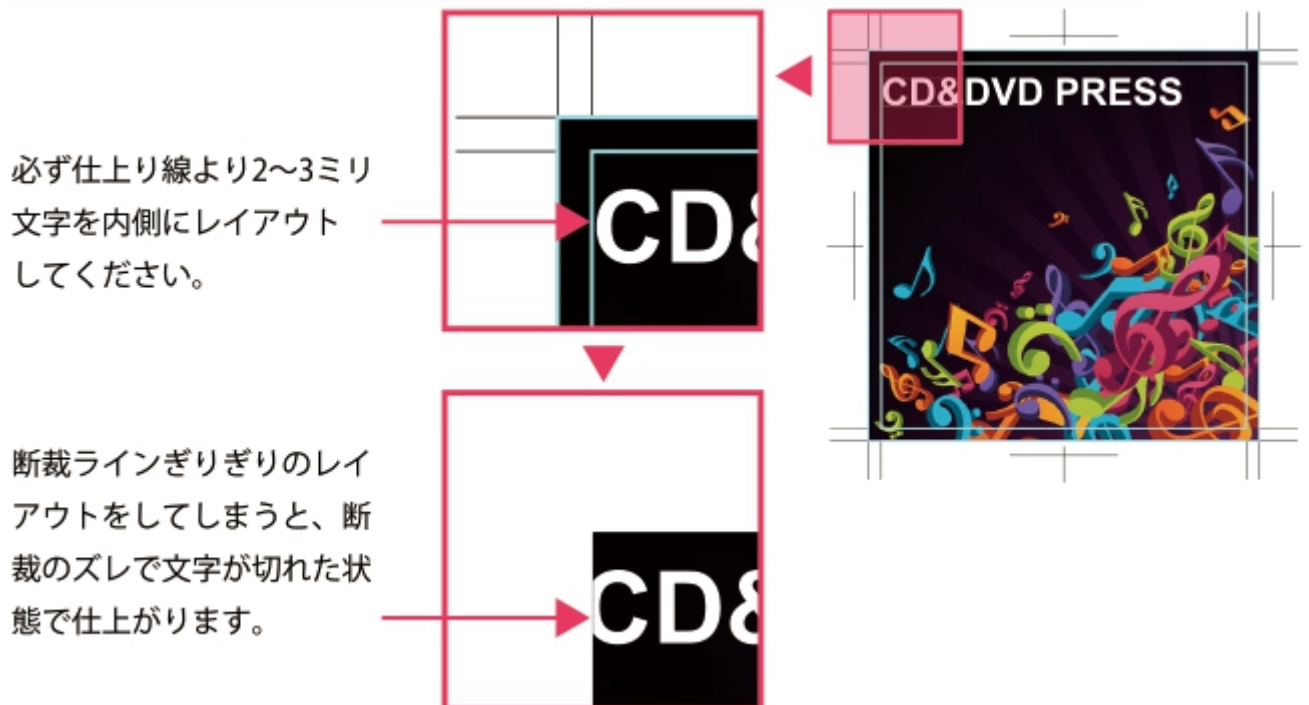
必ず外のライン（ヌリ足し）
までデザインを引延ばして
ください。



断裁は多少ズレてしまいま
すので、外のラインまでデ
ザインがないと紙の色が見
えてしまう仕上がりになり
ます。



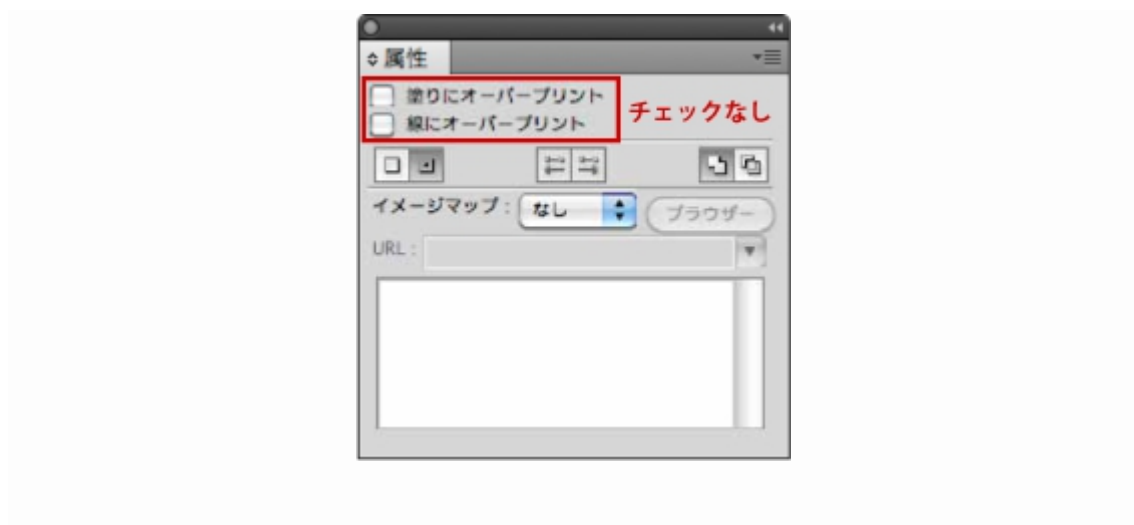
断裁のズレを考慮していないレイアウトによって起こる問題例



オーバープリントはチェックあり/ なしに関わらず無効になります。

弊社ではオーバープリントはチェックあり/ なしに関わらず無効になります。

オーバープリントを考慮したデザインを作成されたい場合、事前に必ずご相談ください。



リッチブラックの配色は C40% M40% Y40% K100% 推奨しています。

リッチブラックとは、K100%の黒に対して CMY を掛け合わせた深みのある黒色の印刷用語です。

CMYK 全て 100%であってもリッチブラックになりますが、裏移り/ 色ムラの原因になりますので、弊社では最適な C40% M40% Y40% K100% を推奨な配色としています。



■ ジャケットデザイン制作ガイド

Illustrator を使用してデータ作成

ジャケット印刷データを Illustrator を使用し作成される場合、下記を上から順番にご確認ください。

順番に作業を行っていただければ、不備のないご入稿用データが簡単に出来上がります。

イラストレータ入稿規定をデザイン作業前にご確認ください。

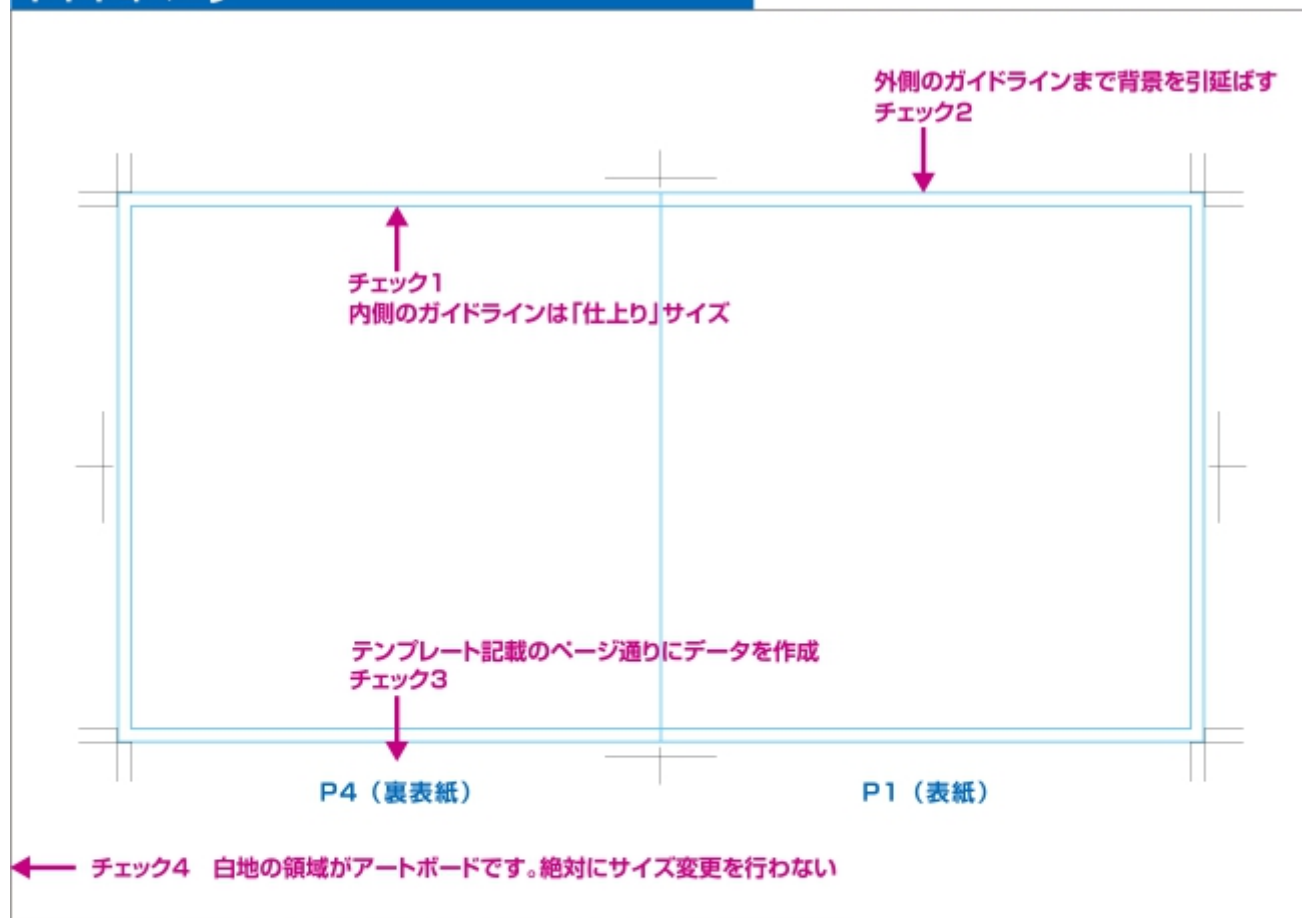
デザイン作業を行う前にテクニカルガイド内の Illustrator データ作成注意点をご確認ください。

テンプレートにも同じ内容の注意点は書かれてありますが、一度目を通してください。

ジャケットテンプレートのチェックポイントをご確認ください。

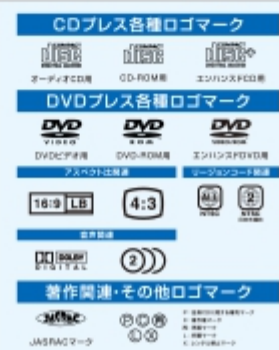
- チェックポイント 1: 内側のガイドラインが仕上りサイズになります。
この線で断裁されます。
- チェックポイント 2: 外側のガイドラインまでデザイン（背景）を引延ばしてください。
- チェックポイント 3: テンプレート記載のページ通りにページを作成してください。
- チェックポイント 4: 白地エリアのアートボードサイズは絶対に変更しないでください。

ジュエルケース P4ジャケットテンプレート P1-P4ページ



データ作成前に必ずご確認ください!!

- ☐ アートボードのサイズ変更は絶対に行わないでください。
- ☐ デザインはデザインレイヤーで行ってください。
- ☐ テンプレートレイヤーは絶対に削除、又は修正を加えないでください。
テンプレートレイヤーのロックを掛けたまま作業を行ってください。
- ☐ 文字(フォント)は全てアウトライン化してください。
- ☐ 配置した画像は全て埋め込み処理を行いご入稿してください。
- ☐ 外側のガイドラインまでデザイン(背景)を引き伸ばしてください。
内側のガイドラインは仕上がりサイズとなります。
- ☐ 断裁を考慮して、文字等は内側のガイドラインより1mm以上内側に配置してください。
- ☐ ご使用のIllustratorのバージョンのまま必ず保存してください。(バージョンダウンを行わない)

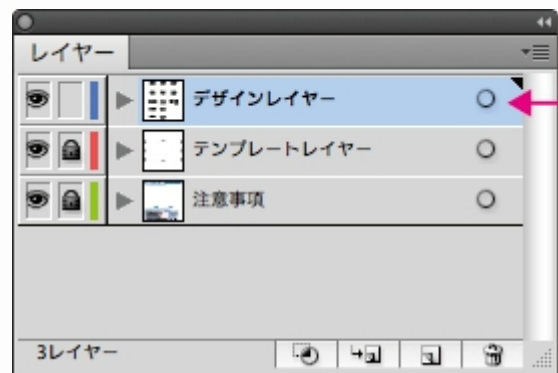


デザインを始める デザイン作業はデザインレイヤーで行ってください

デザイン作業はデザインレイヤーで行ってください。

レイヤーを追加する場合、デザインレイヤーの上下に追加してください。

テンプレートレイヤー、注意事項レイヤーでデザイン作業を行った場合、正しく印刷されませんので十分ご注意ください。



テンプレートレイヤーは絶対に削除・変更をしないでください

テンプレートレイヤーを初めて開くとテンプレートレイヤーにはロックが掛かっています。

そのままの状態でデザイン作業を行ってください。

テンプレートレイヤーを削除、または変更された場合は、再度ご入稿頂くことになります。



デザイン作業が終わったら ①文字のアウトライン化と確認

デザイン作業が終わったら文字（フォント）を全てアウトライン化する必要があります。

アウトライン化の方法が解らない場合はこちらをご確認ください。

アウトラインされていない文字を簡単に探す手順を下記にてご説明いたします。

1. デザインレイヤーにロックが掛かっていたらロックを解除してください。
2. 「オブジェクト」から「全てをロック解除」を選択してください。

ロック解除が選択出来ない場合は、②に手順は必要ありません。

3. 「選択」から「すべてを選択」を選択します。

ショートカット「Ctrl+A」 >>MacOS の場合は「コマンド+A」

4. 「選択」から「オブジェクト」→「テキストオブジェクト」を選択します。

5. ④の手順後に画面上でテキストオブジェクトが選択された場合、選択された文字はアウトライン化されていないので、アウトライン化作業を行ってください。

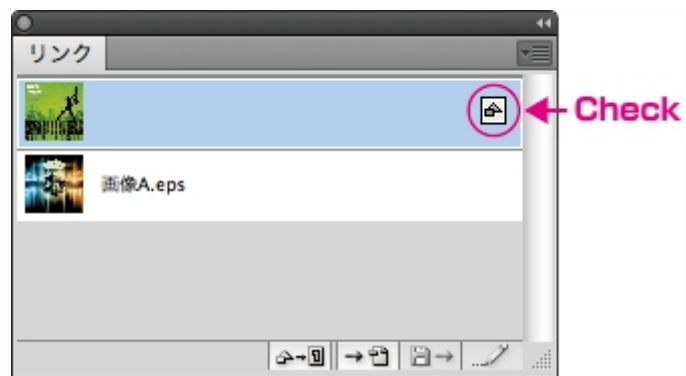
デザイン作業が終わったら ②配置画像の埋め込みと確認

デザイン作業が終わったら画像を全て埋め込み処理する必要があります。

画像の埋め込み処理の方法が解らない場合はこちらをご確認ください。

埋め込み処理されていない画像を簡単に探す手順を下記にてご説明いたします。

1. 「ウインドウ」から「リンク」にチェックを入れて「リンクパネル」を表示してください。
2. リンクパネルに使用された画像が表示されます。
画像の右にマークが表示されているかご確認ください。
3. ②の手順でマークが表示されていなければ画像は埋め込み処理が完了していませんので、埋め込み処理を行ってください



入稿用にファイルの整理

データご入稿は「Illustrator ファイルのみ」をお願い致します。

ご使用された画像は上記手順にて埋め込み処理をされておりますので必要ありません。

■盤面（シルク印刷）デザイン制作ガイド

Illustrator で作成「シルク印刷」レーベルデータ作成ガイド

Adobe Illustrator を使用し、データ作成をされる場合は下記入稿規定に沿ってデータ作成してください。

Illustrator のバージョンは CC まで対応しています。

Illustrator データ入稿規定

イラストレータ入稿規定をデザイン作業前にご確認ください。

デザイン作業を行う前にテクニカルガイド内の Illustrator データ作成注意点をご確認ください。

テンプレートにも同じ内容の注意点が書かれておりますが、一度目を通してください。

ジャケットテンプレートのチェックポイントをご確認ください。

- チェックポイント 1: 必ず記入欄に記入、選択をしてください。
- チェックポイント 2: 画像(背景)を使用される場合は、必ず塗り足しを 1
～2mm 作成してください。
- チェックポイント 3: 白地エリアのアートボードサイズは絶対に変更し
ないでください。

海外プレス シルク印刷 「内径23mm」レーベルテンプレート

品 番	
シルク印刷使用色	
PANTONE No	
PANTONE No	
PANTONE No	
PANTONE No	
白ヌキ指示	
色ヌキ（盤面色）	☒ あり ☐ なし

←品番の欄は DC から始まる注文管理番号を入れてください。

「シルク印刷使用色のご説明」

「スウォッチ」から着色された PANTONE No を右記入欄に必ず記入してください。

「白ヌキ指示のご説明」

印刷をしない部分を作り、盤面の顔色を見せるデザイン「色ヌキ」箇所があるお客様は上記「色ヌキ」にチェックを入れてください。必ず「色ヌキ」箇所は ☐「盤面色1」又は、☐「盤面色2」のどちらかで着色してください。

チェック 1

必ず記入して作業を進めて下さい。

デザイン完成後、色とヌキ指定をしてください。

チェック 3

画像を使用される場合、このラインより 1～2mm 外まで引延ばしてください。（塗り足し）内側（内径）も同様です。

チェック 2

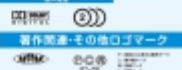
内径 23mm と 46mm 用のテンプレートがあります。間違いないよう確認してください。

← チェック 4 白地の領域がアートボードです。絶対にサイズ変更を行わないでください。

データ作成前に必ずご確認ください！！

- ☐ 海外プレスのお客様は、「MADE IN JAPAN」の表記は絶対に入れないでください。
- ☐ 盤色は「スウォッチ」のカラーより着色してください。
- ☐ デザインは各色毎のレイヤーで行ってください。
- ☐ テンプレートレイヤーは絶対に削除、又は修正を施さないでください。テンプレートレイヤーのロックを上げたまま作業を行ってください。
- ☐ 文字（フォント）は全てアウトライン化してください。
- ☐ 配置した画像は全て埋め込み処理を行いご入稿してください。
- ☐ 画像を背景に使用される場合、テクニカルガイド(弊社ホームページ)を必ずご確認ください。
- ☐ ご使用のIllustratorのバージョンのまま必ず保存してください。（バージョンダウンを行わない）
- ☐ 内径46mmより内側は盤面の顔の質感が変わりますので、顔面色を見せるデザインの場合にはご注意ください作業お願いいたします。

CDプレス各種ロゴマーク



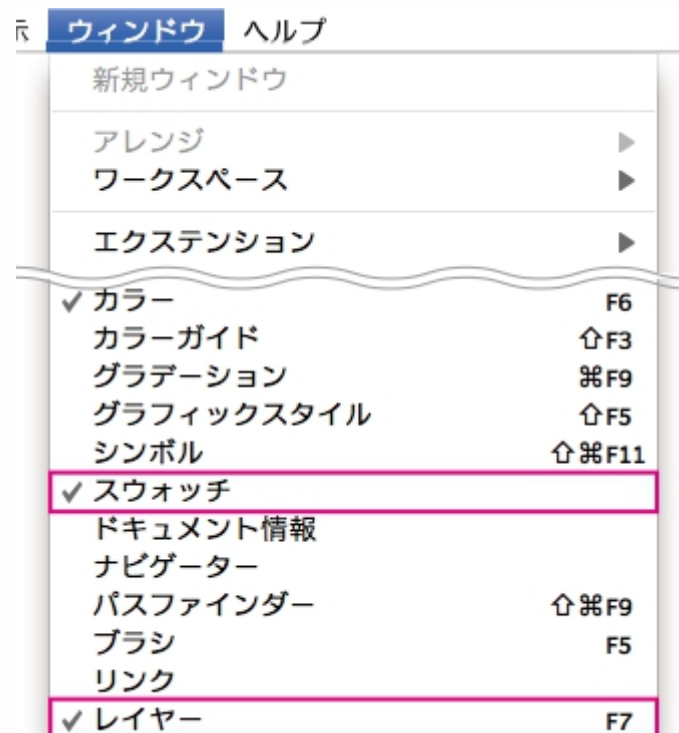
Illustrator シルク印刷デザイン作業前に準備

弊社レーベル – シルク印刷用テンプレートを Illustrator で開いてください。

デザイン作業前に必ず「スウォッチ」と「レイヤーパネル」を表示してください。

表示されていない場合は、ウィンドウから「スウォッチ」にチェックを入れ

「スウォッチ」パネルを表示してください。「レイヤー」が表示されていない場合も、ウィンドウから「レイヤー」にチェックを入れレイヤーパネルを表示してください。



スウォッチから色を選んで着色してください

シルク印刷用テンプレートには、予め使用することの出来る色がスウォッチ内に含まれています。

※シルク印刷で使用される色は必ずスウォッチ内からご選択ください。

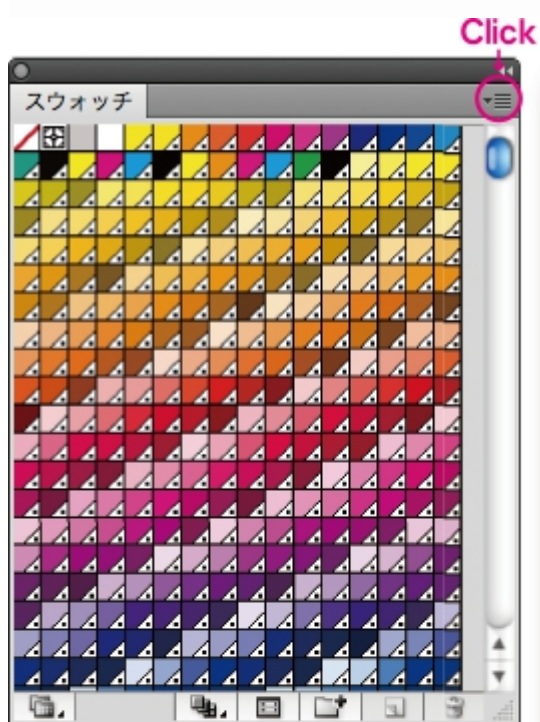
1 レイヤーにつき 1 色選んで着色してください。

※※※重要事項※※※

盤面印刷のシルク印刷は 3 色までです。（白を含みます）

シルク 4 色、金、銀、メタリックなどは別途料金が必要です。

スウォッチの表示は、「サムネール」と「リスト」の 2 種類があります。色を選択しやすい方に切り替えて着色してください。盤面色を選択する時は、リスト表示の方が間違いなく選択できます。



スウォッチがリスト表示になります。



- 新規スウォッチ...
 - 新規カラーグループ...
 - スウォッチを複製
 - スウォッチを結合
 - スウォッチを削除
 - カラーグループを解除...
-
- 未使用項目を選択
 - 使用したカラーを追加
-
- 名前順
 - 種類別
 - 「検索」フィールドを表示
-
- サムネール (小) を表示
 - サムネール (中) を表示
 - サムネール (大) を表示
 - ✓ リスト (小) を表示
 - リスト (大) を表示
-
- スウォッチオプション...
 - 特色...
-
- スウォッチライブラリを開く
 - スウォッチライブラリを交換用として保存...
 - スウォッチライブラリを Illustrator として保存...

シルク印刷用テンプレートのレイヤー説明

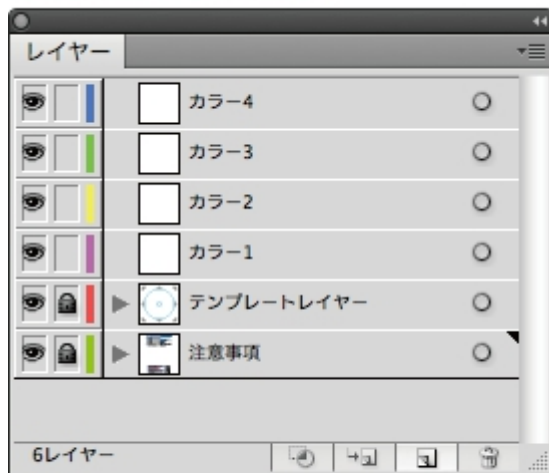
シルク印刷用テンプレートを開くと、レイヤーパネルにカラー 1 からカラー 4 までのレイヤーが既に作成されています。シルク 1 色でデザインを作成される場合は、「カラー 1」のレイヤーを使用しデザインしてください。また、シルク 2 色でデザインを作成される場合は、「カラー 1」と「カラー 2」のレイヤーを使用しデザインしてください。3 色、4 色の場合も同じ使用方法です。

下記は「2 色」でデザインを行う場合の参考事例です。

注意点：弊社ではシルク 1 ～ 3 色までで作成される事をお勧めしております。

色数が多いと版ズレが発生し、仕上りが悪くなります。工場の版ズレ許容範囲は 0.3mm となります。

「シルク印刷用」レイヤー見本

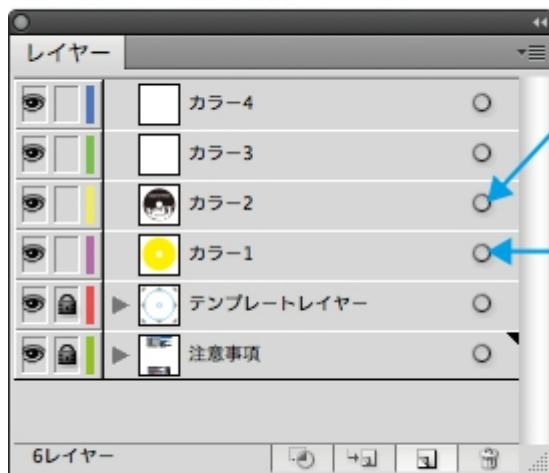


シルク印刷は4色まで使用できます。
1色につき1レイヤーでデザインしてください。

シルク印刷2色の仕上り例



シルク2色印刷の場合のレイヤーの例

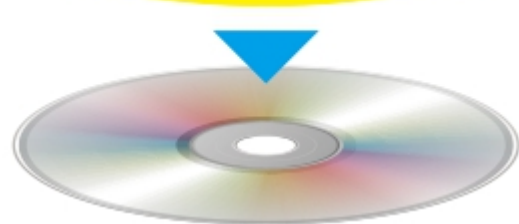


カラーレイヤー1から順番に印刷していきます。

カラー2レイヤーのデザイン



カラー1レイヤーのデザイン



盤面の色を活かしたデザインを行う場合の注意点

盤面の色を活用した仕上り見本



「盤面色 1」で着色したデザイン例



「盤面色 1」にて着色

盤面の色を見せたい部分には必ず、スウォッチから「盤面色 1」又は「盤面色 2」を選択し着色してください。盤面色 1 はグレーで、盤面色 2 は白色です。
モニタで見やすく確認しやすい方を選んでご使用ください。

※作業のミスに繋がる場合がありますので、「盤面色1」と「盤面色2」の両方を使うのはご遠慮ください。



シルク印刷で画像を使用する場合の注意事項

盤面の色を活用した仕上がり見本



画像を配置し、画像に色指定を入れてください。



色指示の例

画像は「PANTONE ●●」にて着色

元の画像



グレースケールに変換



印刷で画像を使用される場合、画像をグレースケール又は、モノクロ 2 階調に変換してくださいカラー画像をモノクロにすると、色が薄くなりますので、コントラスト等で調整してください。

※シルク印刷は 100%以外網点になりますのでご注意ください。

画像の色指定方法

画像を「グレースケール」又は「モノクロ 2 階調に色変換し、テンプレートへ配置してください。

必ず配置後に、何色で印刷を行うか色指示を入れてください。色指示は下記例を参考にしてください。

デザイン作業が終わったら ①文字のアウトライン化と確認

デザイン作業が終わったら文字（フォント）を全てアウトライン化する必要があります。

アウトライン化の方法が解らない場合はこちらをご確認ください。

アウトラインされていない文字を簡単に探す手順を下記にてご説明いたします。

1. デザインレイヤーにロックが掛かっていたらロックを解除してください。
2. 「オブジェクト」から「全てをロック解除」を選択してください。

ロック解除が選択出来ない場合は、②に手順は必要ありません。

3. 「選択」から「すべてを選択」を選択します。

ショートカット「Ctrl+A」>>MacOS の場合は「コマンド+A」

4. 「選択」から「オブジェクト」→「テキストオブジェクト」を選択します。

5. ④の手順後に画面上でテキストオブジェクトが選択された場合、選択された文字はアウトライン化されていませんので、アウトライン化作業を行ってください。

デザイン作業が終わったら ②配置画像の埋め込みと確認

デザイン作業が終わったら画像を全て埋め込み処理する必要があります。

画像の埋め込み処理の方法が解らない場合はこちらをご確認ください。

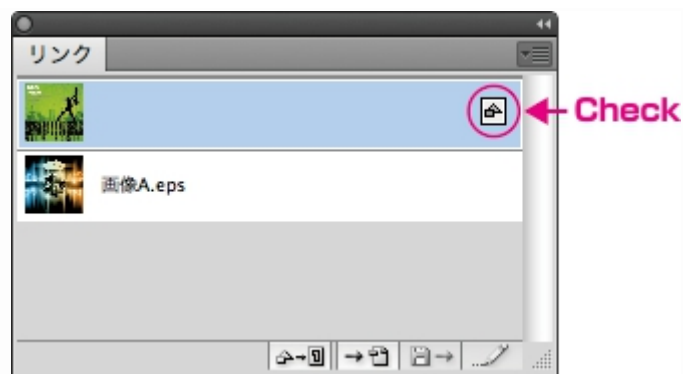
埋め込み処理されていない画像を簡単に探す手順を下記にてご説明いたします。

1. 「ウインドウ」から「リンク」にチェックを入れて「リンクパネル」を表示してください。

2. リンクパネルに使用された画像が表示されます。

画像の右にマークが表示されているかご確認ください。

3. ②の手順でマークが表示されていなければ画像は埋め込み処理が終わっていませんので、埋め込み処理を行ってください。



入稿用にファイルの整理

データご入稿は「Illustrator ファイルのみ」をお願い致します。

ご使用された画像は上記手順にて埋め込み処理をされておりますので必要ありません。



■盤面（オフセット印刷）デザイン制作ガイド

Illustrator で作成「フルカラー印刷用」レーベルデータ作成ガイド

Adobe Illustrator を使用し、データ作成をされる場合は下記入稿規定に沿ってデータ作成してください。

Illustrator のバージョンは CC まで対応しています。

Illustrator データ入稿規定

イラストレータ入稿規定をデザイン作業前にご確認ください。

デザイン作業を行う前にテクニカルガイド内の Illustrator データ作成注意点をご確認ください。

テンプレートにも同じ内容の注意点が書かれておりますが、一度目を通してください。

レーベルテンプレートのチェックポイントをご確認ください。

- チェックポイント 1: 必ず記入欄に記入、選択をしてください
- チェックポイント 2: 画像(背景)を使用される場合は、必ず塗り足しを 1
～2mm 作成してください。
- チェックポイント 3: 白地エリアのアートボードサイズは絶対に変更し
ないでください。

海外プレス フルカラー印刷 「内径23mm」レーベルテンプレート

品 番	
ホワイト版指示	
ホワイト版	☐ あり (通常) ☒ なし 盤面の色が透けて見えます。
白ヌキ指示	
色ヌキ (盤面色)	☒ あり ☐ なし

←品番の欄は DC から始まる注文管理番号を入れてください。

「ホワイト版のご説明」

紙に印刷した状態と同じ仕上りをご希望の場合は、「あり」をご選択ください。「なし」を選択の場合は、盤面の色が透けて見えてしまいメタリックな仕上りになります。

「白ヌキ指示のご説明」

印刷をしない部分を作り、盤面の原色を見せるデザイン箇所があるお客様は上記「色ヌキ」にチェックを入れてください。

必ず「色ヌキ」箇所は ☐ 「盤面色1」又は ☐ のどちらかで着色してください。

チェック 1

必ず記入して作業を進めて下さい。

デザイン完成後、ホワイト版とヌキ指定をしてください。

チェック 3

画像を使用される場合、このラインより 1～2mm 外まで引延ばしてください。(塗り足し) 内側 (内径) も同様です。

チェック 2

内径 23mm と 46mm 用のテンプレートがあります。間違いないよう確認してください。

← チェック 4 白地の領域がアートボードです。絶対にサイズ変更を行わないでください。

データ作成前に必ずご確認ください!!

- ☐ 海外プレスのお客様は、「MADE IN JAPAN」の表記は絶対に入れないでください。
- ☐ ホワイト版「あり」「なし」を必ずご選択してください。
- ☐ デザインはデザインレイヤーで行ってください。
- ☐ テンプレートレイヤーは絶対に削除、又は修正を加えないでください。
テンプレートレイヤーのロックを解けたまま作業を行ってください。
- ☐ 文字(フォント)は全てアウトライン化してください。
- ☐ 配置した画像は全て埋め込み処理を行いご入力してください。
- ☐ 画像を背景に使用される場合、テクニカルガイド(弊社ホームページ)を必ずご確認ください。
- ☐ ご使用のIllustratorのバージョンのまま必ず保存してください。(リージョンダウンを行わない)
- ☐ 内径46mmより内側は盤面の銀の質感が変わりますので、盤面色を見せるデザインの場合にはご注意ください作業お願いいたします。

CDプレス各種ロゴマーク

オーディオCD CD-R/RW DVD-R/RW

DVDプレス各種ロゴマーク

DVD-VIDEO DVD-R/DL DVD-RW DVD-R/DL DVD-RW

Blu-ray Disc Blu-ray Disc Blu-ray Disc

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

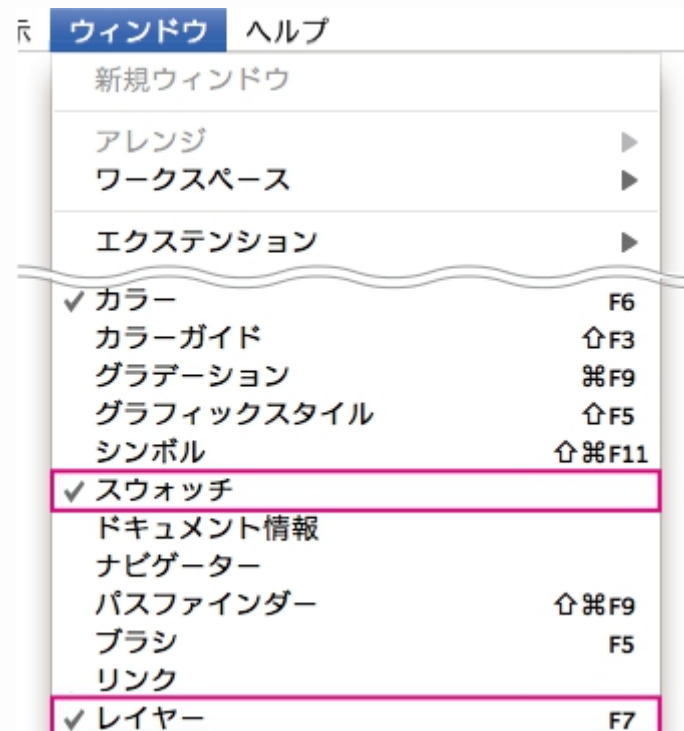
HD DVD HD DVD HD DVD

HD DVD HD DVD HD DVD

フルカラー印刷デザイン作業前に準備

デザイン作業前に必ず「スウォッチ」と「レイヤーパネル」を表示してください。

表示されていない場合は、ウィンドウから「スウォッチ」にチェックを入れ「スウォッチ」パネルを表示してください。「レイヤー」が表示されていない場合も、ウィンドウから「レイヤー」にチェックを入れレイヤーパネルを表示してください。



盤面の銀色を見せる場合は、「スウォッチ」より色指定

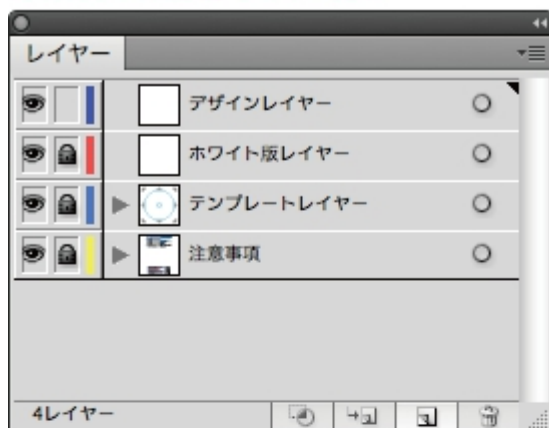
フルカラー印刷用テンプレートには、「盤面色1」と「盤面色2」がスウォッチ内に含まれています。

盤面色の使用方法を下記にてご説明しておりますので、必ずご確認ください着色してください。

フルカラー印刷用テンプレートのレイヤー説明

デザイン作業は「デザインレイヤー」で行ってください。「デザインレイヤー」の下の「ホワイト版レイヤー」は、下記解説の「盤面の色を活かしたデザイン「上級者向け」」のような作りの場合にご使用ください。

「フルカラー印刷用」レイヤー見本

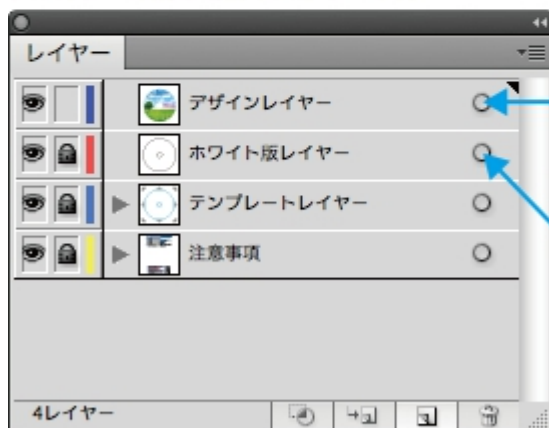


オリジナルなホワイト版を作成される場合以外は、ホワイト版はロックを掛けたままにしてください。

フルカラー印刷の仕上がり例



フルカラー印刷の場合のレイヤーの例

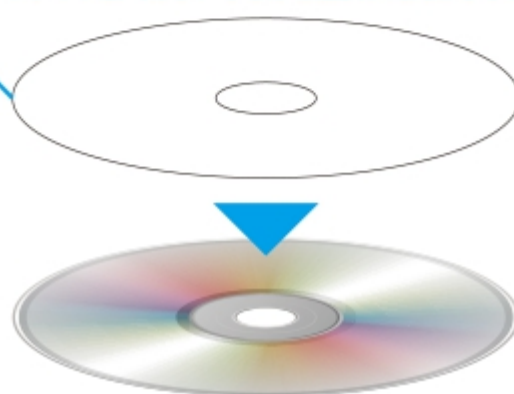


ホワイト版の「あり」、「なし」を明確にするために必ずテンプレートのホワイト版にチェックを入れてご選択してください。

フルカラー印刷のデザイン



ホワイト版（あり、なしはご選択いただけます。）



ホワイト版の「あり」、「なし」について

フルカラー印刷用のインクはやや透明なインクです。その為、下地に白を印刷する必要があります。

CD や DVD のメディアの上に白色を印刷する事により、通常のフルカラー印刷を再現できます。

白色を印刷しない場合は、メタリック風な仕上りになります。

ホワイト版「あり」の場合



ホワイト版「あり」仕上り見本



ホワイト版「なし」の場合



ホワイト版なし

ホワイト版「なし」仕上り見本



盤面の色を活かしたデザインを行う場合の注意点

盤面の色を活用した仕上がり見本



「盤面色1」で着色したデザイン例



「盤面色1」にて着色

盤面の色を見せたい部分には必ず、スウォッチから「盤面色1」又は「盤面色2」を選択し着色してください。盤面色1はグレーで、盤面色2は白色です。モニタで見やすく確認しやすい方を選んでご使用ください。

※作業のミスに繋がる場合がありますので、「盤面色1」と「盤面色2」の両方を使うのはご遠慮ください。



盤面の色を活かしたデザイン「上級者向け」

盤面の色を活用した仕上がり見本



バスを使用したホワイト版の作成例



左図はありがちなレーベルデザインですが、若干高度な上級者知識が必要となります。

ポイント

- ①画像を用意します。
- ②画像の周りをパスで切抜きます。
- ③パスをホワイト版レイヤーに配置します。

この時に、必ずホワイト版は K100%で作成してください。また、画像とホワイト版が重ねた時にズレが無いように配置してください。

※レーベル印刷は 0.2 ～ 0.3mm ほどズレが生じる場合がありますので、ホワイト版は実際の画像より 0.2 ポイント程度小さくすることをお勧め致します。

画像とホワイト版の位置がずれていると。下図のように白が見えてしまいます。



デザイン作業が終わったら ①文字のアウトライン化と確認

デザイン作業が終わったら文字（フォント）を全てアウトライン化する必要があります。

アウトライン化の方法が解らない場合はこちらをご確認ください。

アウトラインされていない文字を簡単に探す手順を下記にてご説明いたします。

1. デザインレイヤーにロックが掛かっていたらロックを解除してください。
2. 「オブジェクト」から「全てをロック解除」を選択してください。

ロック解除が選択出来ない場合は、②に手順は必要ありません。

3. 「選択」から「すべてを選択」を選択します。

ショートカット「Ctrl+A」>>MacOS の場合は「コマンド+A」

4. 「選択」から「オブジェクト」→「テキストオブジェクト」を選択します。

5. ④の手順後に画面上でテキストオブジェクトが選択された場合、選択された文字はアウトライン化されていないので、アウトライン化作業を行ってください。

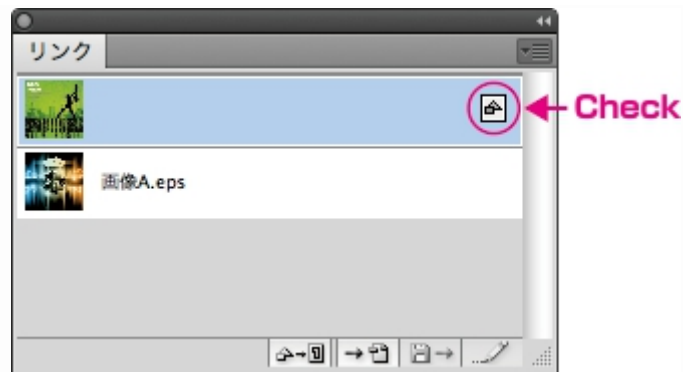
デザイン作業が終わったら ②配置画像の埋め込みと確認

デザイン作業が終わったら画像を全て埋め込み処理する必要があります。

画像の埋め込み処理の方法が解らない場合はこちらをご確認ください。

埋め込み処理されていない画像を簡単に探す手順を下記にてご説明いたします。

1. 「ウインドウ」から「リンク」にチェックを入れて「リンクパネル」を表示してください。
2. リンクパネルに使用された画像が表示されます。
画像の右にマークが表示されているかご確認ください。
3. ②の手順でマークが表示されていなければ画像は埋め込み処理が完了していませんので、埋め込み処理を行ってください。



入稿用にファイルの整理

データご入稿は「Illustrator ファイルのみ」をお願い致します。

ご使用された画像は上記手順にて埋め込み処理をされておりますので必要ありません。